福祉こいと

第18号

編集・発行　小糸地区社会福祉協議会　令和５年３月31日

あいさつ

小糸地区社会福祉協議会
会長　四塚　辰明

令和５年の年明けを迎えました。皆様は良い年をお迎えになられましたか。

コロナ禍も落ち着きを見せマスクの着用も緩和されました。しかし、日々の予防策として多数の人の集まりの場ではマスクを着用し、人との距離を確保しましょう。引き続き手洗いやアルコール消毒などもしっかり実行していきましょう。

さて、小糸地区の皆様には地域福祉活動にご理解いただき、日々ご尽力されておられます事、また君津市社会福祉協議会賛助会員に賛同いただきお礼申し上げます。

昨年は一大事業である敬老会を３年ぶりに開催する事が出来ました。昨年卒寿を迎えられた方は君津市全体では４４５名で、小糸地区では男性１０名・女性２９名の計３９名の方をお祝いすることが出来ました。皆様には多大なご尽力を頂き誠にありがとうございました。

本年１月に第５１回君津市社会福祉大会が開催され福祉関係者の表彰や優秀作品の表彰がありました。令和４年度福祉の標語コンクールでは小糸小学校１学年　古賀廉さん、５学年　國見有寿さん、周東中学校１学年　小倉彩音さん、１学年　奈良輪美結さん、３学年　飯田優芽さん、３学年　重田絢香さんが優秀賞を受賞されました。改めてお祝い申し上げます。今回の標語は、人のことを思い笑顔があふれる小糸の里を作る心優しい標語でした。

小糸地区では「一人ぼっちをつくらない」明るく楽しい小糸の里を皆様と一緒に構築して行きたいと思います。今年も敬老会やミニ敬老会など、多くの事業を計画しています。ふるってご参加ください。まだまだ冷え込む日があります。お体をご自愛ください。

おしどり夫婦お祝い事業

二人合わせて150歳又は151歳を迎えたご夫婦に花束を贈呈しました。令和4年度は14組のご夫婦にお届けしました。

小糸地区敬老会

令和４年10月15日晴天の下、小糸地区敬老会が３年ぶりに小糸小学校体育館において開催されました。園児から高齢者まで様々なアトラクションがあり楽しい一日になりました。令和４年度卒寿を迎えられた方は、小糸地区では３９名おり、当日は８名の方がお越しくださいました。今年も開催を予定しておりますのでお気軽にお出かけください。

卒寿を迎えられたみなさま

小糸保育園の園児によるおゆうぎ

周東中学校吹奏楽部による演奏

小糸小学校児童による合唱

第72回“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテスト

佳作「高齢者の災害時避難を考える」

君津市立周東中学校　3学年　堀（ほり）　由朔（ゆうさく）

先日回覧板で、近所の独居高齢者が亡くなったことを知った。様子がおかしいと感じた近所の住民が警察に電話したことが、発見のきっかけだった。家の中で亡くなっており、日にちもだいぶ経っていたそうだ。

私の住む街は独居高齢者が多く、我が家のように三世代で住んでいる家は珍しい。最近知ったことなのだが、祖母は近所の一人暮らしの友人から安否確認を頼まれていて、「この窓は毎日開けるから、開いていなかったら息子に連絡してね。」と約束しているらしい。祖母はその息子さんの連絡先も聞いている。友人も外泊時は窓の開閉が無いので、必ず連絡をくれる。高齢者の一人暮らしには、緊急時に助けてくれる人がとても大切だと考えた。

安否確認であれば、祖母の行っている行動はとても意味がある。しかし、災害時には要支援者だけでなく支援者も緊急事態となるため、対応がとても難しい。私が自宅にいたとしたら、近所の高齢者を助けられるだろうか。

私の住んでいる君津市は令和元年8月30日、台風15号の被災地となった。我が家の場合、避難所に避難するまではなかったが、ライフラインが一週間止まってしまった。近所の方と助け合いながら何とか乗り切ったが、今までにない辛い体験だった。近所の高齢者も怪我無く、家族の家に一時避難したり、家族が必要物品を持って来たりしていた。

東日本大震災の時に、高齢者の死亡率はその他の世代に比べて2倍だったと新聞に載っていた。若い世代に比べて情報を得るのが遅かったことや、体が不自由で避難出来なかったことなどが原因だった。今後、どうすれば高齢者を助けることが出来るだろうか。

私が調べたところ、各市町村で要支援者避難支援が取り組まれているようだ。私が住んでいる君津市では、令和3年10月に君津市避難行動要支援者避難支援計画を策定している。近隣住民の助け合いにより、円滑な避難支援や安否確認を行う体制づくりだ。「誰が」「誰を」「どう支援するか」を事前に定め、災害に備える。避難行動要支援者への地域での避難支援には、多くの地域支援者を必要としている。

計画書には警戒区域や、本人の身体状況、緊急連絡先、地域支援者情報などの項目がある。しかし、この計画書の存在をどれだけの人が知っているだろうか。少なくとも、私の周りには一人もいなかった。この計画書こそ今後の災害時に高齢者が避難できるかどうかの決め手になるはずだ。

まずは、計画書を作成しなければならない。私の祖父母も言っていたのだが、高齢になると書類に何かを書くということがとても億劫になるそうだ。ケアマネジャーの母からこのような話を聞いた。居宅介護計画書を作成しているケアマネジャーならば高齢者のアセスメントができているので、個別避難計画書の作成もできる。計画書が出来ただけでは実行に繋がらないため、計画書に記名した家族、地域支援者、警察署、消防署担当者で計画書に関する会議を開催する。さらに、避難訓練を行っておくことも大事である。

ここで私は考えた。災害後は再び集合し、実際の避難で良かったことや悪かったことを検討する。そしてまた計画する。この手順を繰り返せば、一人暮らしの高齢者が避難できずに自宅に取り残される心配は減るはずだ。また、家族が遠く離れていても、安否を確認することができる。

今後はますます一人暮らしの高齢者は増える。自分もいずれ通る道のため、地域で要支援者を助ける手段を皆で作っていきたい。

令和４年度福祉の標語コンクールの優秀賞

作品を紹介します。暖かな気持ちが伝わる素晴らしい作品です。

【優秀賞】

さきどうぞ！　ゆずるひとこえ　きもちいい
永遠に　笑顔が続く　ふるさとへ
助け合い　みんなでつなぐ　地域の輪
お互いの　価値観認め　広がる笑顔
小さな手　きっとあるはず　できること
君の手で　みんなの心に　ぬくもりを

小糸小学校１年　古賀　廉さん
小糸小学校５年　國見　有寿さん
周東中学校１年　小倉　彩音さん
周東中学校１年　奈良輪美結さん
周東中学校３年　飯田　優芽さん
周東中学校３年　重田　絢香さん

児童高齢者交流スポーツ大会開催

令和4年11月20日、3年ぶりに小糸小学校グラウンドにてシニアクラブの皆さんと児童によるグラウンド･ゴルフ大会が開催されました。コロナウイルス感染症対策のため豚汁を食べることは出来ませんでしたが、シニアクラブの皆さんが小学生にルールや打ち方を教えながら和気あいあいのうちに終了しました。入賞者は次の方々です。

◎高齢者の部

優　勝	松本	幸子さん
準優勝	川嶋	峰子さん
第３位	平野	秀孝さん

◎児童の部

優　勝	５学年	平野	暖さん
準優勝	４学年	新納	千尋さん
第３位	４学年	田中	優羽さん
第３位	４学年	村上	湊一郎さん

児 童 の こ え

「初めてのグランドゴルフ」

五年　平野　暖

三年前に私の姉が、グランドゴルフに参加したことがありました。その時私は参加できなかったので、今年参加しようと思いました。

グランドゴルフで一緒だったおじいちゃんやおばあちゃんは、とてもやさしくわかりやすく教えてくれました。そのおかげもあって、うまく打つことができて、とてもうれしかったです。

「楽しい一日だった」

四年　新納　千尋

グランドゴルフが始まって、チームの方が自分と同じ福岡県出身だと聞いて、うれしかったです。第一ラウンドが終わり、第二ラウンドが始まって、一回から四回まで二打か三打でおさまって、よかったです。その後は、楽しく打つことができました。

結果は二位で、びっくりしましたが、とてもうれしかったです。楽しい一日でした。

「ホールインワンでつかんだ三位」

四年　田中　優羽

最初は、むずかしくてボールがゴールのほうへいかなくて、くやしい思いをしました。　でも、地いきの方にコツを教えてもらい、後半には、ホールインワンを出すことができました。びっくりしたけど、地いきの方に、「すごい!」と言ってもらえてうれしかったです。心からうきうきしました。次にまたやることがあったら、一位をとりたいです。

「がんばったグランドゴルフ」

四年　村上湊一郎

ぼくがグランドゴルフ大会で一番心にのこったことは、当日に三位をとれたことです。

大会当日、ぼくは三位決定戦で勝ち、三位になりました。でも実はぼくは四位でした。その相手がホールインワンをしていたからです。ぼくはくやしかったけれど、たくさん戦うことができたので、いい経験になりました。

来年は一位になりたいです。

あとがき……待望の行事再開！敬老会やスポーツ交流会など小糸のまちにも少しずつ笑顔が戻ってきています。マスク着用が個人の判断になりました。難しい場面もありますが、思いやりを持った判断をしたいですね。（S）